

## 2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	免疫検査学2		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	通年 月 火曜日	教室名	1校舎 801 802
担 当 教 員	駒井亘	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
教育目標: 国家試験合格に必要な免疫学の知識と応用力を習得する。 期待される学習効果: 1. 国家試験に合格できる。 2. 免疫検査学分野の専門家を志す場合の基礎が身に付く。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
プリント、免疫検査学(医歯薬出版)						
《授業外における学習方法》						
国家試験の過去の問題や模擬試験を分析し自分の弱点を知る。						
《履修に当たっての留意点》						
免疫学の授業に関して、分からないならないことがあれば遠慮なく質問しに来てください。待っています。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	自然免疫と獲得免疫の原理、リンパ球の種類とその働きを説明できるようにする。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください	
		各コマにおける授業予定	免疫学の基本原理①			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	自然免疫と獲得免疫の原理、リンパ球の種類とその働きを説明できるようにする。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください	
		各コマにおける授業予定	免疫学の基本原理②			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	自然免疫と獲得免疫の原理、リンパ球の種類とその働きを説明できるようにする。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください	
		各コマにおける授業予定	免疫学の基本原理③			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	自然免疫と獲得免疫の原理、リンパ球の種類とその働きを説明できるようにする。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください	
		各コマにおける授業予定	免疫学の基本原理④			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	一次リンパ組織と二次リンパ組織の種類と免疫学における役割について説明できる。代表的なサイトカインの性質とその働きについて説明できるようにする。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください	
		各コマにおける授業予定	免疫学の応用原理①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	一次リンパ組織と二次リンパ組織の種類と免疫学における役割について説明できる。代表的なサイトカインの性質とその働きについて説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	免疫学の応用原理②		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	一次リンパ組織と二次リンパ組織の種類と免疫学における役割について説明できる。代表的なサイトカインの性質とその働きについて説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	免疫学の応用原理③		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	一次リンパ組織と二次リンパ組織の種類と免疫学における役割について説明できる。代表的なサイトカインの性質とその働きについて説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	免疫学の応用原理④		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	HLAについて構造とその働き、臓器移植、輸血との関係とその検査法について説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	HLA①		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	HLAについて構造とその働き、臓器移植、輸血との関係とその検査法について説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	HLA②		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	HLAについて構造とその働き、臓器移植、輸血との関係とその検査法について説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	HLA③		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	HLAについて構造とその働き、臓器移植、輸血との関係とその検査法について説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	HLA④		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	抗原と抗体の定義、分類、性質について理解し説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	抗原と抗体①		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	抗原と抗体の定義、分類、性質について理解し説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	抗原と抗体②		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	抗原と抗体の定義、分類、性質について理解し説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	抗原と抗体③		

## 2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	免疫検査学2		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	通年 月 火曜日	教室名	1校舎 801 802
担 当 教 員	駒井亘	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
教育目標: 国家試験合格に必要な免疫学の知識と応用力を習得する。 期待される学習効果: 1. 国家試験に合格できる。 2. 免疫検査学分野の専門家を志す場合の基礎が身に付く。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
プリント、免疫検査学(医歯薬出版)						
《授業外における学習方法》						
国家試験の過去の問題や模擬試験を分析し自分の弱点を知る。						
《履修に当たっての留意点》						
免疫学の授業に関して、分からないことがあれば遠慮なく質問しに来てください。待っています。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	抗原と抗体の定義、分類、性質について理解し説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください	
		各コマに おける 授業予定	抗原と抗体④			
第 17 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	5種類のクラスの抗体について構造と機能について説明できるようになる。B細胞受容体の多様性について理解できる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください	
		各コマに おける 授業予定	抗体①			
第 18 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	5種類のクラスの抗体について構造と機能について説明できるようになる。B細胞受容体の多様性について説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください	
		各コマに おける 授業予定	抗体②			
第 19 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	5種類のクラスの抗体について構造と機能について説明できる。B細胞受容体の多様性について説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください	
		各コマに おける 授業予定	抗体③			
第 20 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	5種類のクラスの抗体について構造と機能について説明できる。B細胞受容体の多様性について説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください	
		各コマに おける 授業予定	抗体④			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	BJP、H鎖病蛋白、他に温度依存性蛋白について理解し説明できる。免疫電気泳動法についても理解し説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	M蛋白と疾患①		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	BJP、H鎖病蛋白、他に温度依存性蛋白について理解し説明できる。免疫電気泳動法についても理解し説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	M蛋白と疾患②		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	BJP、H鎖病蛋白、他に温度依存性蛋白について理解し説明できる。免疫電気泳動法についても理解し説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	M蛋白と疾患③		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	BJP、H鎖病蛋白、他に温度依存性蛋白について理解し説明できる。免疫電気泳動法についても理解し説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	M蛋白と疾患④		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	急性期蛋白質について理解し説明できる。一次免疫応答と二次免疫応答について理解し説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	血清蛋白質の異常、一次免疫応答と二次免疫応答①		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	急性期蛋白質について理解し説明できる。一次免疫応答と二次免疫応答について理解し説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	血清蛋白質の異常、一次免疫応答と二次免疫応答②		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	急性期蛋白質について理解し説明できる。一次免疫応答と二次免疫応答について理解し説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	血清蛋白質の異常、一次免疫応答と二次免疫応答③		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	急性期蛋白質について理解し説明できる。一次免疫応答と二次免疫応答について理解し説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	血清蛋白質の異常、一次免疫応答と二次免疫応答④		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	補体の定義と活性化、補体系の制御機構並びに補体成分、補体受容体の働きについて説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	補体①		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	補体の定義と活性化、補体系の制御機構並びに補体成分、補体受容体の働きについて説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	補体②		

## 2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義実習
科目名	免疫検査学2		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対象学年	3年生		学期及び曜時限	通年 月 火曜日	教室名	1校舎 801 802
担当教員	駒井亘	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
教育目標: 国家試験合格に必要な免疫学の知識と応用力を習得する。 期待される学習効果: 1. 国家試験に合格できる。 2. 免疫検査学分野の専門家を志す場合の基礎が身に付く。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
プリント、免疫検査学(医歯薬出版)						
《授業外における学習方法》						
国家試験の過去の問題や模擬試験を分析し自分の弱点を知る。						
《履修に当たっての留意点》						
免疫学の授業に関して、分からないならないことがあれば遠慮なく質問しに来てください。待っています。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第31回	講義形式	授業を通じての到達目標	補体の定義と活性化、補体系の制御機構並びに補体成分、補体受容体の働きについて説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください	
		各コマにおける授業予定	補体③			
第32回	講義形式	授業を通じての到達目標	補体の定義と活性化、補体系の制御機構並びに補体成分、補体受容体の働きについて説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください	
		各コマにおける授業予定	補体④			
第33回	講義形式	授業を通じての到達目標	最新の国家試験問題(免疫学分野)を解いて正答を導き、その過程を説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください	
		各コマにおける授業予定	国家試験演習①			
第34回	講義形式	授業を通じての到達目標	最新の国家試験問題(免疫学分野)を解いて正答を導き、その過程を説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください	
		各コマにおける授業予定	国家試験演習②			
第35回	講義形式	授業を通じての到達目標	最新の国家試験問題(免疫学分野)を解いて正答を導き、その過程を説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください	
		各コマにおける授業予定	国家試験演習③			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	講義形式	授業を通じての到達目標	最新の国家試験問題(免疫学分野)を解いて正答を導き、その過程を説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	国家試験演習④		
第37回	講義形式	授業を通じての到達目標	最新の国家試験問題(免疫学分野)を解いて正答を導き、その過程を説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	国家試験演習⑤		
第38回	講義形式	授業を通じての到達目標	最新の国家試験問題(免疫学分野)を解いて正答を導き、その過程を説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	国家試験演習⑥		
第39回	講義形式	授業を通じての到達目標	最新の国家試験問題(免疫学分野)を解いて正答を導き、その過程を説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	国家試験演習⑦		
第40回	講義形式	授業を通じての到達目標	最新の国家試験問題(免疫学分野)を解いて正答を導き、その過程を説明できるようになる。	教科書 配布資料	前回の授業をノートを中心に復習してください
		各コマにおける授業予定	国家試験演習⑧		
第41回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第42回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第43回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第44回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第45回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			